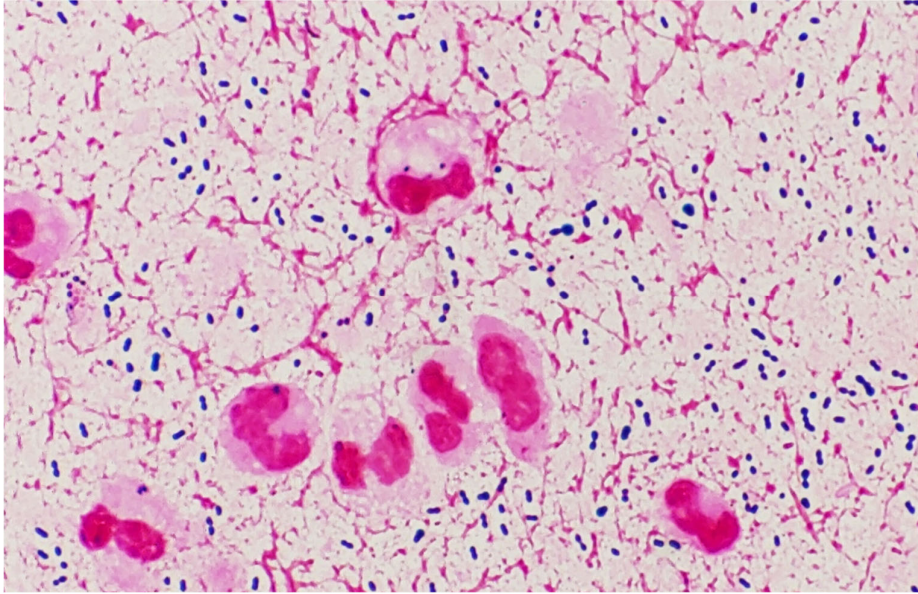


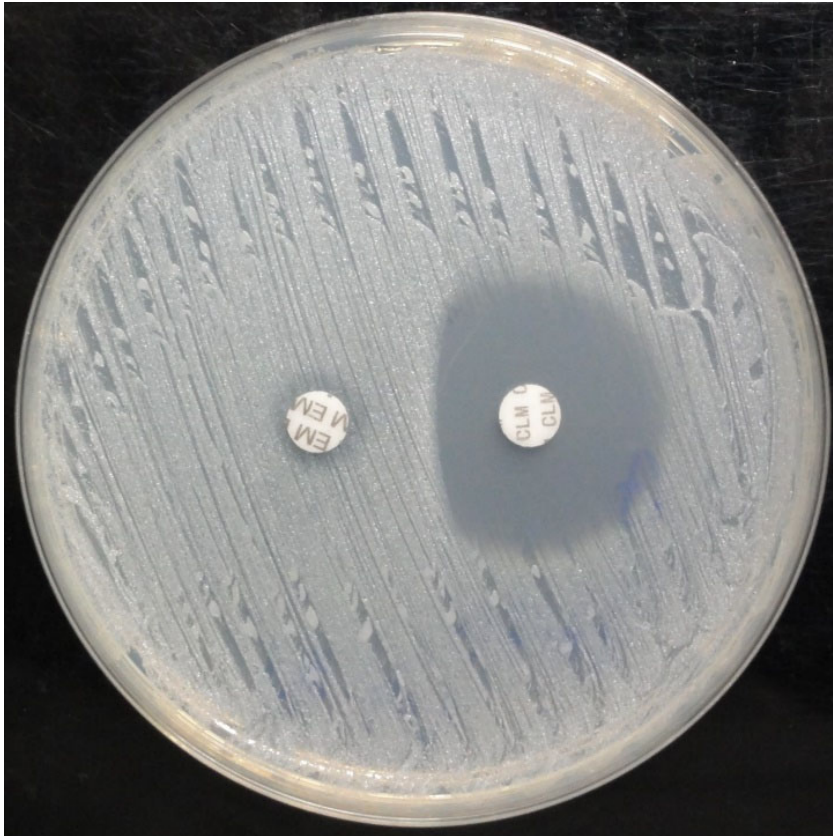
図は市中肺炎患者の喀痰の Gram 染色である。考えられる細菌はどれか。



Gram 染色 ×1000

- a. *Haemophilus influenzae*
- b. *Moraxella catarrhalis*
- c. *Pseudomonas aeruginosa*
- d. *Staphylococcus aureus*
- e. *Streptococcus pneumoniae* 正解

図はディスク拡散法を用いた *Staphylococcus aureus* の薬剤感受性検査を示したものである。左はエリスロマイシンのディスク、右はクリンダマイシンのディスクである。この図について正しいのはどれか。



- a. double disk テストと呼ばれる。
- b. エリスロマイシンは感性である。
- c. クリンダマイシンは感性である。
- d. エリスロマイシンは誘導耐性を示す。
- e. クリンダマイシンは誘導耐性を示す。 **正解**

Diagnostic stewardship の実践において、検査結果の報告時に重要なのはどれか。

- a. 迅速な報告を最優先する。
- b. 臨床的意義のある菌のみを報告する。 **正解**
- c. 検体の質に関する情報は記載しない。
- d. 最終結果が確定するまで中間報告は行わない。
- e. 検査を行った全ての抗菌薬の薬剤感受性検査結果を報告する。

中間宿主と寄生虫の組み合わせで正しいのはどれか。

- a. 豚 無鉤条虫
- b. 牛 有鉤条虫
- c. ブリ 横川吸虫
- d. サケ 日本海裂頭条虫 **正解**
- e. サバ マンソン裂頭条虫

誤嚥性肺炎が疑われる患者で抗菌薬開始前に喀痰を採取し、臨床微生物検査室に提出した。
検査結果を示す。適切な対応はどれか。

検体	喀痰	
塗抹検鏡	Gram 陽性球菌	2+
	Gram 陽性桿菌	(-)
	Gram 陰性球菌	1+
	Gram 陰性桿菌	(-)
	白血球	1+
培養・同定	<i>α</i> -streptococcus	2+
	<i>Neisseria</i> sp.	1+
薬剤感受性	<i>α</i> -streptococcus	
	PIPC	S
	S/ABP	S
	CEZ	S
	CTM	S
	CAZ	S
	CTR	S
	S/CPZ	S
	FMOX	S
	CPR	S
	CZOP	S
	MINO	S
	ABK	R
	CLDM	S
	CPF	S
	LVFX	S
	FOM	S
	VCM	S
	IPM	S

- CZOP を投与する。
- 嫌気培養検査を依頼する。
- Neisseria* sp.の感受性を依頼する。
- 最小発育阻止濃度（MIC）を測定するように依頼する。
- 今後はこのような培養・同定結果は”Normal flora（常在細菌叢）”で返すよう検査室に相談する。 **正解**